



稲刈り(5・6年)

# 木葉小便り

令和4年11月18日(金)発行

文責 校長 吉野 新吾

正直はなぜ大切なのか考えよう ～3年1組 道徳研究授業より～



役割演技で気持ちを考えてみました。



手を挙げて自分の考えを伝えます。

11月4日(金)3年1組で道徳の研究授業を行いました。誰だって、うそはいけないことは分かっています。だけど「おこられないかな、こわいな、ばれないならいいかな」と逃げようとする気持ちもあります。授業が進む中で、正直に伝えると「いい気持ちになる、心が晴れる」という言葉が出てきました。週に1時間、道徳の時間があります。その中でしっかり自分を見つめ、よりよい生き方を見つけて欲しいと思っています。もちろん授業以外の日々の学校生活の中でもしっかりと道徳性を身に付けていって欲しいと思っています。

## 歓声のあがる授業づくり

1年生10月のある日、体育の授業風景です。「走の運動遊び」として「くるくるジャンケンじん取り」をおこなっていました。待って並んでいる1年生の姿も素晴らしいのですが、子供たちの“歓声”が何よりも素晴らしいのです。授業づくりには「走れ!」と言わなくても、子供たちが夢中になって走る仕掛けが大切です。



3人の先生方の熱心な指導姿もありました。“歓声のあがる授業”を校長室から眺めることも幸せな時間のひとつです。



## おかげさま ～収穫の秋～

実りの秋、「いもほり」と「稲刈り」が無事終了しました。木葉小の子供は、保護者や地域の方々の力を借りて成長していきます。芋ももち米もたくさん収穫できました。しっかりと教えていただき、自分たちでできることは行うことで、子供たちを“お客さん”にしない学校行事としての教育活動を推進します。



大城戸 名人



小山 名人



いもほり(1～4年)

12月9日には「餅つき」を予定しています。保護者や地域の方々には、また力をお借りすることになります。感謝です。